

小 児 科

高山赤十字病院 小児科後期研修プログラム

1. 研修期間

シニアレジデント 3年（専門医取得準備期間）

チーフレジデント 2・3年（専門医取得期間）

2. 後期臨床研修の目的

- ） 小児科医として総合的な診療能力を身につける
- ） 小児科領域のサブスペシャリティーを目指す。

3. 到達目標

- ） 小児科専門医の取得
- ） 一人でも小児科医療ができる能力を身につける。

4. 研修プログラム

各研修領域をまんべんなく研修しどの領域でも一応の対応ができる能力を身につける
それぞれの領域の到達目標については別途定める。

1) 一般診断能力・臨床検査など

入院患者を受け持つことにより、また外来患者の診察を通して研修。

2) 救急

救急患者の診察・重症患者の受け持ちとなり小児の救急を学ぶ。

3) 小児保健

外来での乳児健診、地域での健診への出向により経験を積む。また予防接種を通じその基本的考え方を学ぶ。

4) 栄養・栄養障害

入院患者を受け持つことにより研修する。

5) 新生児・未熟児

未熟児センターにて低出生体重児、病的新生児の呼吸・栄養・水分管理を学ぶ。

6) 遺伝・染色体

関連疾患の主治医となり研修する

7) 先天代謝異常、代謝性・内分泌疾患

関連疾患の主治医となり研修する

8) アレルギー・免疫性疾患

入院患者の受け持ちとして、また外来患者を通じて研修する。

9) 感染症・呼吸器疾患

病棟・外来での研修。適切な抗生剤の投与・吸入療法を学ぶ。

10) 消化器疾患

入院患者の受け持ちとして、また外来患者を通じて研修する。

11) 循環器疾患

外来にて心電図・心エコーの判読を行い、長期心臓疾患患児の生活管理を学ぶ。また非常勤医師の専門外来の際心臓外来について集中的に研修する。

1 2) 血液疾患・腫瘍

対象患者は多くないが病棟・外来を通じ研修する。

1 3) 泌尿器・生殖器疾患

長期入院患者の受け持ち・外来を通じて研修する。

1 4) 神経筋疾患

病棟・外来を通じて研修する。画像診断・脳波判読につき指導を受ける。

1 5) 精神発達医学・行動異常・心身医学

外来患者をつうじて研修する。

1 6) 関連領域

入院中の受け持ち患児について生じた各関連領域の関連科と協力し診療を行うことにより研修する。